

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

アニマルスピリットを呼び起こせ 川村 隆 (日立製作所名誉会長)

1. 蒸気機関の発明に端を発した第1次産業革命は、200年ほどかけて肉体労働を機械に置き換えてきました。そして今、それ以来の大きな変化を迎えています。頭脳を機械が代替する「頭脳革命」です。インターネットが広がった1990年代に始まり人工知能(AI)で加速する頭脳革命は、長ければ100年かけて社会を変えていくでしょう。そこに新たなチャンスが生まれるはずです。
2. 忘れてならないのは、資本主義というのは「額に汗してどんどん働け」という仕組みだということです。孔子の論語に「忠恕(ちゅうじょ)」という言葉があります。「忠」は覚悟を決めてひたすら頑張るという意味で、「恕」は思いやりの意味を持つとされます。ただ、日本だと「恕」ばかりが重視されるようになってしまった。「人に迷惑をかけないようにしなさい」といわれた日本人と、「絶対に勝ちなさい」と言われて育った海外の人が、資本主義という同じ土俵で闘うことになるのです。
3. 悲観する必要はありません。大谷翔平選手のように、決意した日本人はやれるということです。海外に留学したり、新興国の人と交わったりしながら、「勝ちたい」というアニマルスピリットを呼び起こしてほしいです。
(参考:「日経ビジネス」2023年6月26日号)

経営者のための理念・哲学

この現状といかに向き合うべきかを自問する 数土文夫 (JFEホールディングス名誉顧問)

1. 内村鑑三が世界に紹介した代表的日本人は、上杉鷹山、西郷隆盛、二宮尊徳、中江藤樹、日蓮の計五人です。なぜ彼らが選ばれたのか。内村の念頭には四聖、つまり釈迦、キリスト、孔子、ソクラテスの姿があったのではないかと私は考えます。内村の選んだ五人はいずれも私利私欲から離れ、自ら悟った大命に従い生涯にわたり道を追い求めました。そして「論語」を熟読し、一様に仁の人でした。彼らこそは、まさしく人間のあり方を説いた四聖の理想に合う人物といえます。
2. 失われた三十年に生きる現代の日本人は改めて内村鑑三の「代表的日本人」を読み直し、この現状といかに向き合うべきかを自問してみたいかがでしょうか。

(参考:「致知」2023年8月号)

人事・労務について

Chat GPTで淘汰される人・生き残る人 丸山 貴宏(クライス・アンド・カンパニー代表取締役)

1. 2023年前半の話題といえば、Chat GPTに代表される生成AI(人工知能)でしょう。その一方で懸念されているのが、「人間の仕事が奪われる」という問題です。信頼関係の構築でベースになるのは、まずその人が信頼に足るかどうか。一言でいえば人間性です。そして重要な情報を話してくれるかどうかの分かれ目となるのは、それぞれの分野で一定の水準を超える、突出したプロフェッショナルであることです。
2. 今のところAIはせいぜい60点か70点くらいで、「社会性」「信頼関係の構築」等、できないこともたくさんあります。人間性と専門性を磨いてその分野で頼られる存在となり、人的なネットワークを構築してネットにはない情報を収集、活用できる人になる。それがChat GPTに淘汰されない人材像の一つになると思います。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2023年7月8日号)

古典に学ぶ

逆境をバネに努力する

1. 空海は、材料となる現実には誰にでも平等に与えられていると説いているのです。過酷な環境にさらされ、「冗談じゃない。自分には不利な材料しかない」と憤る人もいるかもしれません。
2. しかし、逆境をバネにして努力し、満足の行く人生を歩む人は大勢います。材料を正しく見て使っていけば、誰にでもそのような生き方ができるのです。

(参考:名取芳彦監修「空海 道を照らす言葉」:河出書房新社)